

# ウイステリアProとアポイント管理職を使ってみよう！ III (その2)

藤木省三 (日本ヘルスケア歯科学会副代表・神戸市開業)



**\*基本的な注意\***

- \*ウイステリアなどのファイル名を変えないでください
- \*バックアップは毎日必ずとりましょう
- \*バックアップが必要なファイルおよびフォルダ\***
  - ・ウイステリア Photo50 ・アポイント管理職 3
  - ・来院履歴 5 ・唾液量 5 ・抜歯履歴 5 ・処置履歴 5

- ・ PerioAssistant5 ・ XRAssistant111
- ・ (NewFile) フォルダ (ウイステリアに取り込んだ画像の保存フォルダ)

※旧バージョンのウイステリアをご使用の場合はファイル名が一部異なります。

## ロウステリアってどういうソフト?

初回は、ヘルスケア型診療になぜウイステリアのようなデータベースソフトが不可欠なのかをお伝えしました。今や、予防型診療は時代の流れです。私たちは常に一步先を進むためにデータベースを活用すべきだと思います。

今回は、ウイステリアで何ができるのかを、簡単に説明します。

### 〈メニュー画面〉(図1)

ウイステリアを立ち上げると最初に開く画面です。ここでは、画像のネットワーク関連の設定をおこないます。「新規登録」や「患者検索」と、これから説明していく「基本画面」「う蝕画面」「歯周病画面」そして「集計画面」に移動することができます。



図1 メニュー画面

### 〈基本画面〉(図2)

基本画面では他にもある歯科用のデータベースと同様に、カルテ番号、患者氏名、ふりがな、性別、生年月日、初診日、住所、電話番号などの基本的な情報を入力します。他のデータベースとの違いは、患者の来院履歴を残せることです。

「初診」「再初診」「処置」「メンテ」の4つの項目が基本に備わっています。ヘルスケア型診療に取り組んで5年、10年が経過したときに、自分たちがやってきたことの成果を知りたいと思うのは当然です。しかし、その結果を調べるのは容易ではありません。ウイステリアでは、この来院履歴を残すことでメンテナンスに来ているかどうか、年に何回来ているかが瞬時にわかります。

図2には描かれていませんが、「アポイント管理職」を併用すればその患者の来院日も表示されます。



図2 基本画面



図3 う蝕画面

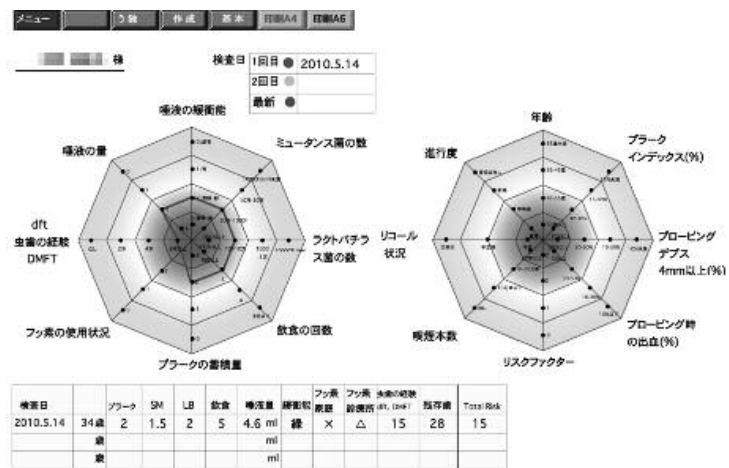


図4 う蝕チャート

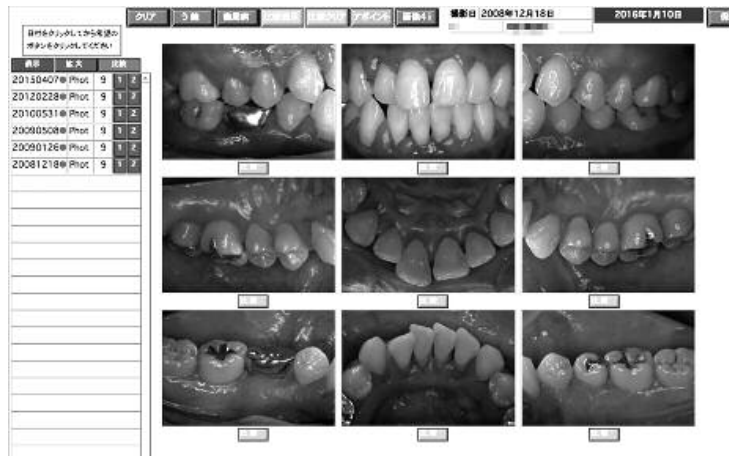


図5 9枚写真表示



図6 写真拡大

〈う蝕画面〉(図3-4)

う蝕画面では、DMFT, dft, 残存歯数のデータを記録できます。0歳から20歳までは1年ごとの変化を入力することができます。これによって、子どもの予防管理の結果を一目で理解できるようになっています。唾液検査もこの画面で記録します。結果はレーダーチャートで表示されます(図4)。

メンテナンスを確実にこなすための工夫もウィステリアは備えています。担当者やメンテナンス間隔、次回予定日などの入力、表示ができます。来院履歴もこの画面からも行うことができます。

バージョン5.0で大幅に強化されたのがメモ機能です。これは、自分の歯科医院の独自の研究をするための重要な機能です。ナイトガードを作っているが効果があるのだろうか？IPSをこの材料を使ってうまくいっているのだろうか？自分の外科処置の結果はどうなっているのだろうか？そういう疑問を解決するために、ユーザーが自由に設定できるようになっています。この機能を用いて自分の臨床を振り返ることが医院の成長につながります。

〈口腔内写真関連〉(図5-7)

ウィステリアは当初はデータ管理だけでしたが、今では患者への情報提供の機能も追加されています。口腔内写真では、4枚法、9枚法の全体表示、1枚ずつの拡大表示、そして比較表示が簡単にできます。特に比較は比べたい日付を選択するだけで簡単に行うことができるので、患者への説明だけでなく日常的に症例検討ができます。

その他、デンタルX線写真、パノラマ写真のファイルを入力できるフォームもあります。撮影、入力した写真は、葉書、L版などに印刷も可能です。

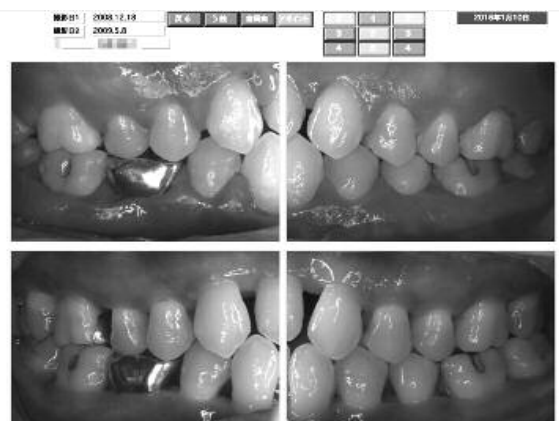


図7 比較



〈歯周病画面〉(図 8-11)

初期のウィステリアでは、初診、再評価、最新の3回のデータしか残せなかったのですが、今ではすべてのデータを残せるようになっていました。6点法のプロービング値、BOP、ブラークインデックス、動揺度が記録できます。BOPとプロービング値だけをグラフ化して見ることもできます(図 11)。患者さんに今までの様子を説明する時に非常に役立ちます。

また、歯周病の最大のリスク要因と考えられている喫煙関連のデータも詳しく記録ができます。自院での喫煙による影響を知れば、患者さんへの指導にも力が入ります。

他に歯周病画面では、初診からの年数やメンテナンス経過年数が自動的に計算されて表示されるので、メンテナンス経過年数が5年以上、10年以上という患者を簡単に検索できるようになります。

〈集計画面〉(図 12-14)

図 12-14 は集計画面です。この画面の右端にあるボタンをクリックすると自動的に基本的な集計ができます。その他に初診年別、歯周病進行度別、担当DH別など様々な検索をかけて調べることができます。詳しくは、このシリーズで順次述べていきたいと思います。

〈アポイント管理職〉(図 15)

アポイントをデジタル化すると、離れた場所で同時にアポイントを見ることができ、検索が瞬時にできるなど、紙のアポイント帳では絶対にできないメリットがあります。アポイント管理職はそれだけではなく、「患者のカルテ番号」→「画像9」の2回のクリックで口腔内写真表示画面に移動できます。勿論、基本画面、う蝕画面、歯周病画面にも2クリックで移動することができ、ウィステリアのセンターのように使うことができます。

前号、アクセスの森さんが FileMaker Pro を使うメリットは、カスタマイズができることと書かれていました。実際、ある歯科医院で森さんにカスタマイズしてもらったケースを紹介してもらっています。

このような事例を知れば知るほど、ウィステリアの発展の可能性がまだまだあることに気づかれます。



図 8 歯周病画面

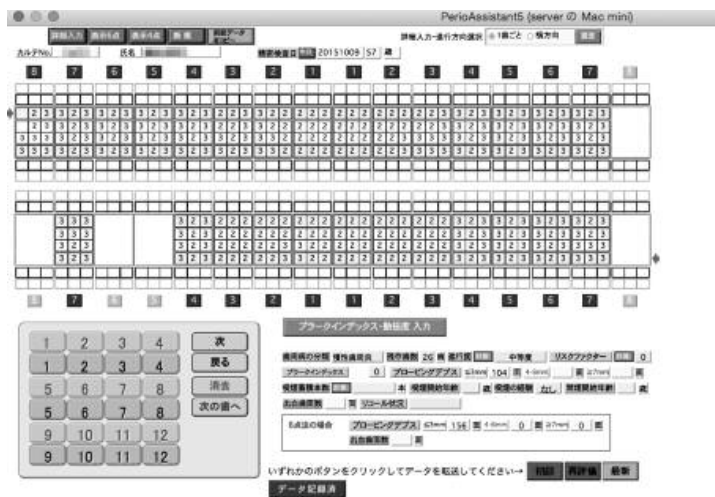


図 9 PerioAssistant; 入力画面

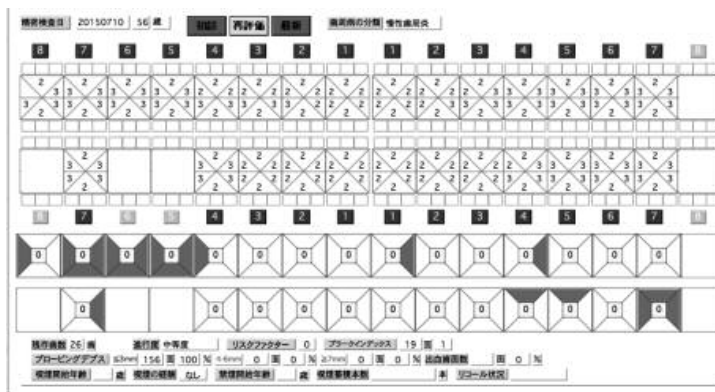


図 10 PerioAssistant; 表示画面 6点

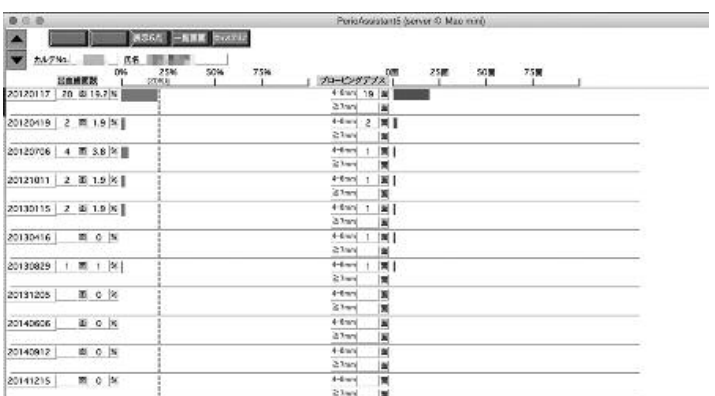


図 11 PerioAssistant; 出欠歯面数グラフ

図 12 集計画面 1

図 13 集計画面 2

図 14 集計画面 3

図 15 アポイント画面



### アポイント管理職のカスタマイズ例

森 一弘 (アクセス代表)

前回、ウィステリアは FileMaker Pro のテンプレートであり、カスタマイズフリーであるということをお話しましたが、今回は実際に現場からの要

望があり、私の方でカスタマイズした実例をご紹介します。これはアポイント管理職のカスタマイズ例です。

図 1 は、通常のアポイント入力画面

ですが、2か所のカスタマイズがあります。

まず、一つは画面の下部にカレンダー形式の日付選択機能をつけています。ヘルスケア学会頒布版では上部のボタンで日付移動ですが、直感的にピンポイントで日付選択がしたいとのご要望があり、表示日付右のマークをクリック



クするとカレンダーがポップアップし移動したい日付をクリックするとその日付に移動します。

二つ目は、画面右にスタッフ名簿とそのカラーが常時表示されるようにしています。一画面内で、色による識別をよりわかりやすくするためのご要望です。

図2では、画面丸ごとが新たな機能です。これは1週間分のアポイントを同時に表示したいとのご要望で、一番左を月曜日～一番右を土曜日という週間表示にしています。この画面へは通常の入力画面から「週表示」のボタンをクリックすれば、入力画面で表示さ

れていた日の週へ移動します。

各曜日内は左からチェア1～5（または6～10）が、患者名と担当者色で表示され、上部の「切替」ボタンでチェア1～5とチェア6～10の画面切替をします。

通常入力画面にも新設したカレンダー選択での日付移動に加え「1W」のボタンで、1週間前と1週間後へ移動します。この週表示画面の目的は、あくまでも視覚的にまとめてアポイント状況を確認することで入力はできません。入力画面に移動するときは上部の「入力画面へ」でカレンダー選択部分の日付に移動するか、該当日付表示部分をクリ

ックすると、その日付の入力画面へ移動します。

画面右には、入力画面に追加したものと同じく、スタッフ名簿とそのカラーが常時表示されるようにしています。

今回のカスタマイズは、これまで紙媒体でのアポイント管理を、アポイント管理職へ移行される際に、できる限り今までに似た形で業務を引き継ぎたいという現場の声を聞き取り調査し、できる限り画面構成をシンプルにカスタマイズしてみました。

その他にも別の事例では、①アポイント管理職に入力されたデータを解析して、スタッフ別に日ごと、週ごと、月ごとにわけて、患者年代別の人数集計をかける。②患者さんへ定番のアンケートを実施し、そのアンケート結果の集計をする。③アポイント管理職にキャンセル履歴を残す。④レセコンソフトから患者基本データを自動取り込みし、氏名や住所など情報入力の手間を省く、などのカスタマイズ導入事例があります。

他にも、医院独自でカスタマイズされたものを見せていただいたことがありますが、患者さんへの提出書類（見積書・紹介状など）を簡単に発行できるシステムをつくっておられた例がありました。

今回カスタマイズ例をご紹介いたしましたが、FileMake Proを使ったこの「ウイステリア」システムは、院内業務効率化の可能性の広げる素晴らしいシステムと言えるのではないのでしょうか。

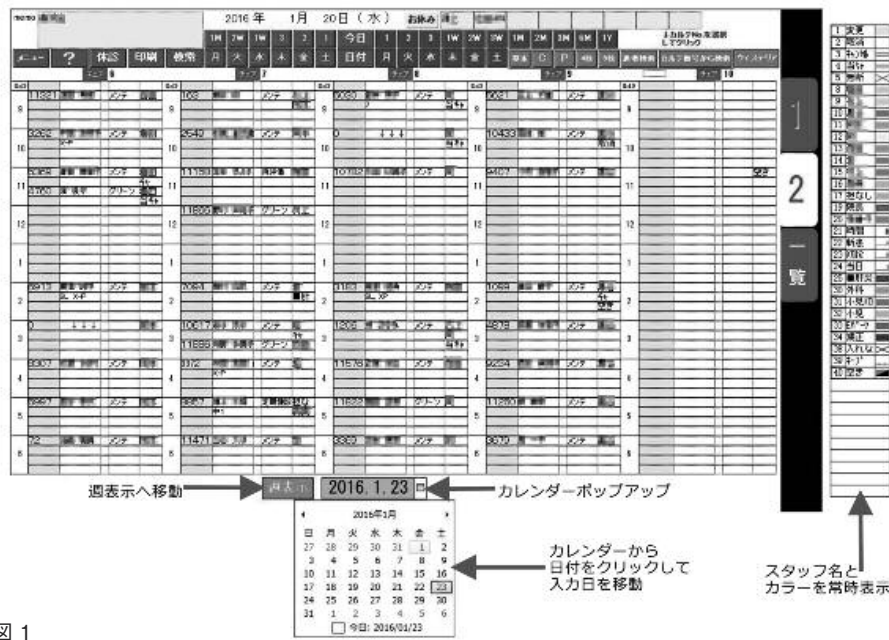


図 1

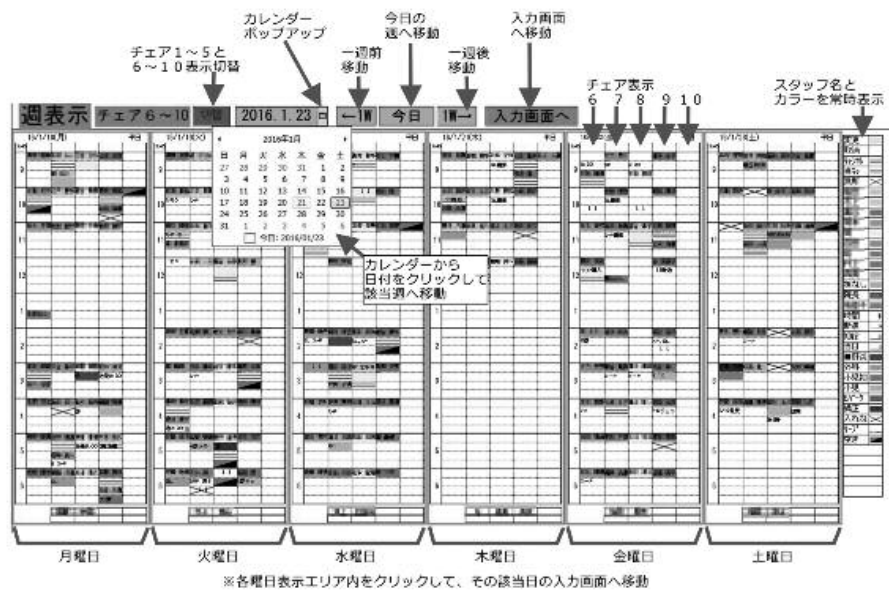


図 2

\* 吉野ヶ里オフィス

〒 842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町  
豆田 2103-13  
TEL.0952-51-1776 ・ FAX.0952-51-1767

\* 弥生が丘オフィス

〒 841-0005 佐賀県鳥栖市弥生が丘 6  
丁目 82  
携帯 090-1920-7894  
URL <http://www.access-pcdoc.jp>  
E-mail [kazu@access-pcdoc.com](mailto:kazu@access-pcdoc.com)